みどりの風

令和５年５月１日発行
校　報　　６０８号
（みどりの風　１５１号）
練馬区立関町北小学校

ことばの教室の開設を特別支援教育のさらなる充実に結び付ける

校長　　吉川文章

「ことば教室」が令和４年度に開設（関町小から本校に移転）され、現在、本校の特別支援教育の柱の一つとなっております。開設に先駆けて、一昨年度、本校の保護者の皆様にご説明した内容と重なりますが、今一度皆様にご紹介したく、今回巻頭言として取り上げることといたしました。

本校の「スター（才能開発ルーム）」にも通ずる内容になります。ぜひ共通理解をしていただければ幸いに存じます。

「ことばの教室」と聞くと、「発音が不明瞭や吃音がある児童への専門的な指導」という意味合いと受け取られがちです。もちろん、その視点での指導・支援は行っています。しかしながら、「ことばの教室」で展開されている教育は、もっと「幅の広い」内容を網羅しているのです。

例えば、授業に落ち着いて臨むことが難しいお子さん、文章を読むことや文字を書くことが苦手なお子さん、こういったケースの多くが、勉強が遅れているのではなく、発達の特性から起こる「困り感」なのです。加えて言えば、そのケースのほとんどが他の分野で才能を発揮している場合が多いのです。「文字は苦手だが知識理解が高い」「話を聞くのは苦手だが計算力がある」「落ち着きがないが、興味関心のあることには集中力が際立つ」よく聞くことですね。発達に優位性をもつこのような子の多くが、かなりの能力を有しているのに「自分は周りに比べて勉強ができていない」という自己肯定感の低さが見られます。

「ことばの教室」では、そういったお子さんへの**「読み書きの指導」に特化した**専門的な指導も「ターゲット」となります。「一対一」の指導を週に１、２時間繰り返す中で、「語彙を増やす」「書字の苦手を克服する」「言語でのコミュニケーション力をつける」などのプログラムを「意図的・計画的・段階的」に積み上げ、通常の学級においての「困り感」を徐々に軽減、解消していきます。

「ことばの教室」では、「困り感」を解消し支援の終了に結び付けることが目標です。こういった教室が本校に設置されていることは「この上ないアドバンテージ」です。発達の特性に照らし合わせた専門教員が校内にいることで、本校に在籍する全ての児童への支援、加えて全ての教員へのコンサルテーション（専門的な助言）が充実します。近隣の学校の多くの児童は「送り迎え」による通級となりますが、本校の児童は自校内の通級となり「送り迎え」の必要はありません。

この件につきまして、相談や問い合わせがありましたら、気兼ねなくご連絡ください。

【問い合わせ】本校ことばの教室：３５９４－１２３１
練馬区教育委員会学務課就学相談係：５９８４－５６６４）

ことばの教室の運営を本校の特別支援教育のさらなる充実に結び付けてまいります。

加えて、本校の「スター（才能開発ルーム）」についても、特別支援教育コーナーとして記事にしております。あわせてご覧ください。「スター」について、もう少し詳しく知りたいという声をいただいております。時期は未定ですが、説明の場も考えております。決まりましたらご連絡いたします。